

## USB2.0 MOユニット オンラインガイド

---

このたびは弊社製 MOユニットをお求めいただきまことにありがとうございました。  
このオンラインガイドでは、MOユニットの取り扱い方法全般についてガイドしています。  
下のボタンから、ご参照になりたい項目をクリックしてください。

ごあいさつ

製品の特徴

使用上のご注意

使用環境について

使用可能なメディアについて

設置方向について

メディアのセットと取り出し

フォーマット（初期化）について

MOユニットの取り外し方法

補足説明

Q&A よくある質問

ハードウェア仕様

サポート修理受付窓口のご案内

## ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本オンラインガイドは製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、別紙のセットアップガイド等共にご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。  
弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

## ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がおお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

## 製品の特徴

ここでは製品の特徴についてご説明いたします。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBBU2シリーズをご使用の場合

LMO-FBU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBBU2 シリーズの特徴

本製品は USB 2.0 の High-Speed に対応したポータブルタイプの外付け型 MO ユニットです。USB バスパワーによる電源供給が可能ですので、USB ケーブルでパソコンとつなぐだけで使用可能となります。

### 本製品の特徴

- ・ 「USB バスパワー対応」ですので、パソコンの USB ポートから供給される電源で動作可能です。AC アダプタ等の外部電源は不要ですので、USB ケーブル一本でパソコンと接続できます。コンセントの空きなどを心配する必要がありません。
- ・ 高速で簡単接続を実現する、「USB 2.0 High-Speed」に対応しています。ケーブルを差し込むだけの簡単接続で使用できますので、導入が容易です。ホットプラグが可能ですので、複数のパソコンのデータのバックアップやパソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能です。
- ・ コンパクトなボディは携帯性に優れ持ち運びに最適です。
- ・ RoHS 指令（特定有害物質の使用規制）に対応した環境にやさしい製品です。
- ・ 放熱性と堅牢性を兼ね備えたアルミボディを採用しています。アルミ表面に「アルマイト処理」を施していますので、汚れや傷もつきにくく、取扱いが容易です。また、「冷却ファン不要の静音設計」により騒音の発生がありません。

## LMO-FBU2 シリーズの特徴

本製品は USB 2.0 / 1.1 対応の外付け型 MO ユニットです。

### 本製品の特徴

- ・ 480Mbps の高速データ転送が可能な USB 2.0 の High-Speed に対応し、従来の USB 1.1 対応の USB ポートに接続することも可能ですので非常に幅広いパソコンに接続して使用することができます。
- ・ インターフェースとして USB を採用していますので、ホットプラグ（パソコン本体の電源が ON になっている状態での着脱）が可能です。必要になったときだけパソコンに接続することもできます。
- ・ RoHS 指令（特定有害物質の使用規制）に対応した環境にやさしい製品です。
- ・ 美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、さらに安定したパフォーマンスが実現されています。
- ・ コンパクトなボディは設置に場所を取りません。

## 使用上のご注意

ここでは製品の取り扱いについての注意事項についてご説明いたします。  
注意事項は、お求めいただいたMOユニットにより異なります。ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBBU2シリーズをご使用の場合

LMO-FBU2シリーズをご使用の場合

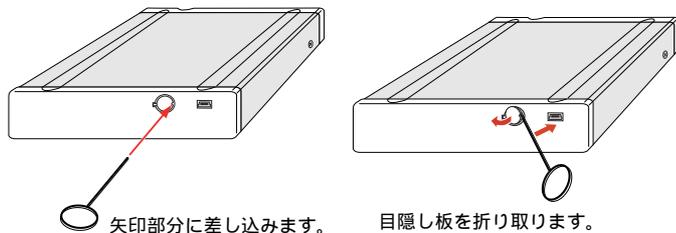
## LMO-PBBU2 シリーズをご使用の際の注意

- ・ パソコン本体やインターフェースボード（カード）、USBハブの仕様によってはUSBの電源供給性能の問題からバスパワーで動作しない場合がございます。その場合は別売りの弊社製 AC アダプタ「LA-12W5S-02」をご使用ください。AC アダプタを使用する際の注意点は次ページをご参照ください。
- ・ USB ケーブルは必ず付属の物をご使用ください。それ以外の USB ケーブルでは動作の保証はいたしかねます。
- ・ 本製品を USB 2.0 で使用される場合、パソコン本体への接続は必ず USB 2.0 ポートへ接続してください。USB 1.1 ポートでの使用も可能ですが、その場合の最大転送速度は従来と同じ Full-Speed（12Mbps）となります。
- ・ スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードについては未サポートとなっております。

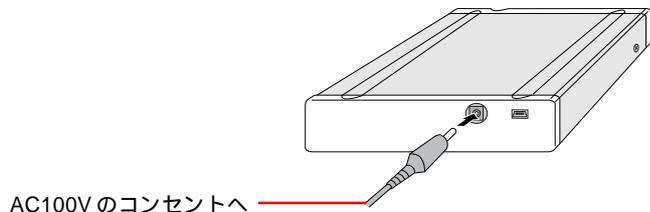
## ACアダプタを使用する際の注意点

ACアダプタを使用する場合は、必ずUSBケーブルを接続する前に、MOユニットにACアダプタを接続し電源を供給してから、USBケーブルでMOユニットとパソコンの接続を行ってください。

はじめに付属のイジェクトツールを使い、目隠し板を下図のように取り除きます。

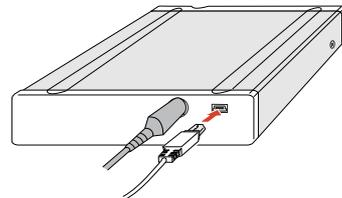


次にACアダプタを接続します。

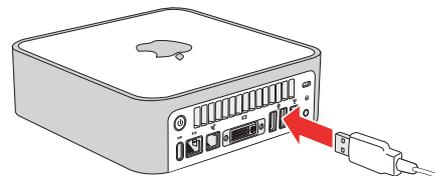


付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを接続します。

MOユニット側  
小さいコネクタ



パソコン本体側  
大きいコネクタ



LMO-PBBU2シリーズ用のACアダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LA-12W5S-02

### ご注意

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中のACアダプタの抜き差しは絶対に行わないでください。不要なりセットや動作異常を招き、データが消失する危険性があります。

## LMO-FBU2 シリーズをご使用の際の注意

- ・ 本製品をバスパワーで使用することはできません。必ず付属の AC アダプタを接続してください。
- ・ 本製品を USB 2.0 ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0 対応ケーブルを使用してください。USB 2.0 に対応していないケーブルで USB 2.0 ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・ USB 1.1 ポートへ接続して使用する際にもなるべく USB 2.0 対応ケーブルをご使用ください。
- ・ スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっております。

## 使用環境について（共通）

製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合の使用条件は以下の通りです。

### 対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されず、また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/Vパソコン
日本電気株式会社	PC98-NXシリーズ
アップルコンピュータ社	Mac mini
	eMac
	iBook、iBook G4
	iMac、iMac G5
	Power Mac G5
	Power Mac G4、Power Mac G4 Cube
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	PowerBook G4、PowerBook (FireWire)
	PowerBook G3 ( BronzeKeyboard )

LMO-PBBU2シリーズをご使用の場合はパソコン側のUSBインターフェースがUSBのバスパワーに対応している必要があります。

### 対応OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

#### マイクロソフト株式会社

Windows XP Home Edition / Professional  
Windows Me  
Windows 98 (Second Edition 含む)  
Windows 2000 Professional

#### アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.1 以降 ( )  
Mac OS 9 ~ 9.2.2 まで ( )

USB2.0接続にてご使用の場合は、Mac OS X 10.2 以降となります。

# 使用可能なメディアについて

ご使用のシリーズで利用できるメディアについては、下表をご参照ください。

機種名		LMO-FB2360U2	LMO- FB1354U2 LMO- FB1365U2 LMO- PBB1354U2	LMO - FB654U2 LMO - FB665U2 LMO - PBB640U2
128MB	標準			
	OW			
230MB	標準			
	OW			
540MB	標準			
	OW			
640MB	標準			
	OW			
1.3GB	標準			×
	OW			
2.3GB	標準		×	×
	OW			

= 使用可能  
 × = 使用不可  
 = 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOメディアと同等になりません。  
 - = このタイプは現在発売されていません。

OW= オーバーライト対応メディア

## ご注意

- Windows Me、98 ( Second Edition 含む ) の環境において、2.3GB、1.3GB、640MB の MO メディアと、540MB、230MB、128MB の MO メディアを混在して使用する場合には、付属 CD-ROM のスィスイスタートガイドより「MO 補助ドライバ」をインストールしてください。
- 他の MO ユニットとのデータ交換には、128MB の MO メディアは使用しないでください。( この用途は保証範囲外とさせていただきます。 )  
 これは 128MB の MO ユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB 以上の MO メディアをご使用ください。

## 設置方向について

ここではMOユニットの設置方向についてご説明いたします。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

LMO-PBBU2シリーズをご使用の場合

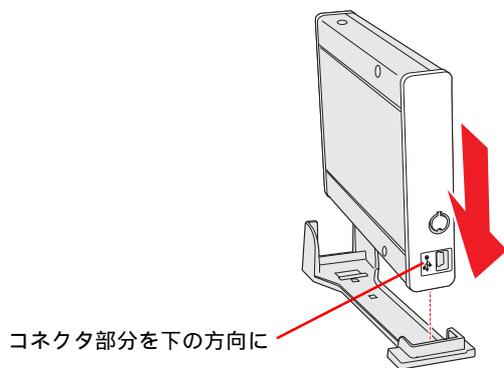
LMO-FBU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBBU2 シリーズの設置方向

LMO-PBBU2 シリーズは縦置き・横置きどちらでも使用可能です。設置の際は、それぞれ以下の図を参考にしてください。

### 縦置きで使用する場合

縦置きで使用する場合、付属のスタンドに、以下のような方向で設置して使用してください。コネクタ部分の方向を逆にすると、転倒の原因となりますのでご注意ください。

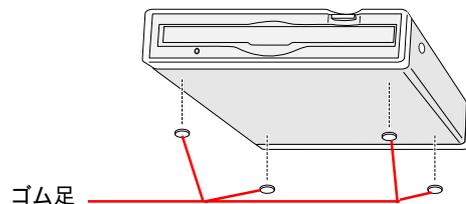


#### 参考

スタンドの底面にイジェクトツールを装着する事ができます。

### 横置きで使用する場合

横置きで使用する場合、底面の4箇所にゴム足を貼り付けてください。



### 正しい設置方向

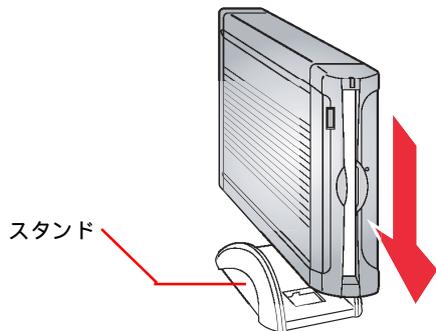


## LMO-FBU2 シリーズの設置方向

LMO-FBU2 シリーズは縦置き・横置きどちらでも使用可能です。設置の際は、それぞれ以下の図を参考にしてください。

### 縦置きで使用する場合

縦置きで使用する場合、付属のスタンドに、以下のような方向で設置して使用してください。

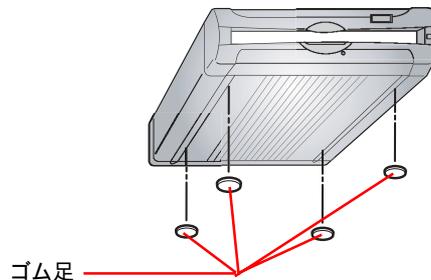


#### 参考

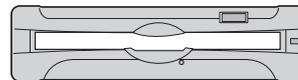
スタンドの底面にイジェクトツールを装着する事ができます。

### 横置きで使用する場合

横置きで使用する場合、底面の4箇所にゴム足を貼り付けてください。



### 正しい設置方向



## メディアのセットと取り出し

ここではMOメディアのセットおよび取り出し方法とその際の注意事項についてご説明します。  
ご使用のMOユニットに該当する項目をクリックしてください。

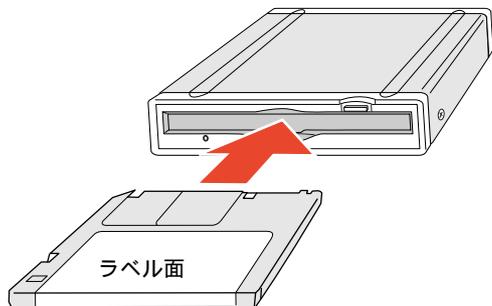
LMO-PBBU2シリーズをご使用の場合

LMO-FBU2シリーズをご使用の場合

## LMO-PBBU2 シリーズの場合

### メディアのセット方法

本製品にMOメディアをセットする場合は、下図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



#### ご注意

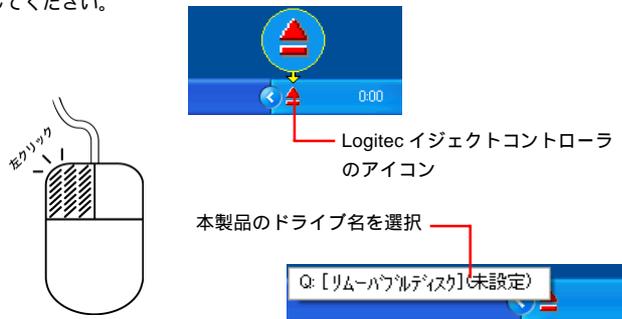
本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。  
フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

### メディアの取り出し方法

#### Windows 環境の場合

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitech イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitech イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

#### 参考：

「Logitech イジェクトコントローラ」を使用しない場合、マイコンビュータ内の本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択してもメディアの取り出しが可能です。

次ページの注意事項もご参照ください

## 注意事項

- ・ 本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。
- ・ アクセスランプ点滅中は取出ししないでください。
- ・ メディア内のファイルが開いている場合は、必ずそのファイルを閉じてから取り出しを行ってください。
- ・ Windows XP/2000環境でご使用の場合は、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてください(付属のソフトウェア「Logitechユーザー権限変更ツール」を使用すると、管理者権限以外でもイジェクトが可能となります)。

## Macintosh 環境の場合

Mac OS X環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り出し」のアイコンに重ねます。

Mac OS X の場合



### 参考：

「取り出し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。デスクトップ上で取り出し可能なメディアや、取り外し可能な記憶装置を選択すると、「取り出し」のアイコンに変化します。



Mac OS 9環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねます。

Mac OS 9.2.2 の場合



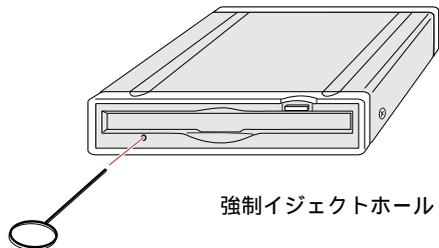
## イジェクトツールを使用した取り外し方法

何らかの理由でMOメディアの取り出しができなくなったときは、次の手順でMOメディアの取り出しを行ってください。

正しい手順で、本製品の取り外し操作（アンプラグ）を行った後、本製品からUSBケーブルを抜いてください。

取り外し操作については、「MOユニットの取り外し方法」をご参照ください。

強制イジェクトホールにイジェクトピンを差し込み、突き当たるまで強く押してください。メディアが数センチ排出されるので、静かに引き抜きます。



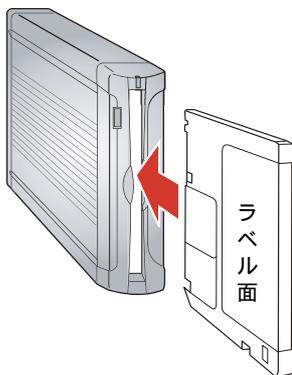
### ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

## LMO-FBU2 シリーズの場合

### メディアのセットについて

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



#### ご注意

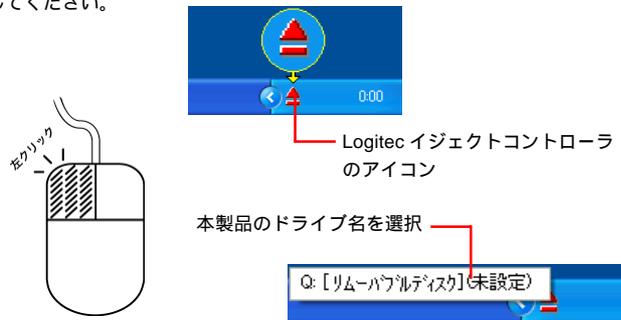
本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。  
フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

### メディアの取り出し方法

#### Windows 環境の場合

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitech イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitech イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

#### 参考：

「Logitech イジェクトコントローラ」を使用しない場合、マイコンコンピュータ内の本製品のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「取り出し」を選択してもメディアの取り出しが可能です。

次ページの注意事項もご参照ください

## 注意事項

- ・ 本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼動中は使用しないでください。
- ・ アクセスランプ点滅中は取出ししないでください。
- ・ メディア内のファイルが開いている場合は、必ずそのファイルを閉じてから取り出しを行ってください。
- ・ Windows XP/2000 環境でご使用の場合は、管理者権限をもつユーザーとしてログオンしてください（付属のソフトウェア「Logitechユーザー権限変更ツール」を使用すると、管理者権限以外でもイジェクトが可能となります）。

## Macintosh 環境の場合

Mac OS X 環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップ下のDockにある「取り出し」のアイコンに重ねます。

Mac OS X の場合



参考：

「取り出し」のアイコンは、通常右のような「ゴミ箱」の形をしています。デスクトップ上で取り出し可能なメディアや、取り外し可能な記憶装置を選択すると、「取り出し」のアイコンに変化します。



Mac OS 9 環境の場合は本製品のアイコンをデスクトップにあるゴミ箱のアイコンに重ねます。

Mac OS 9.2.2 の場合



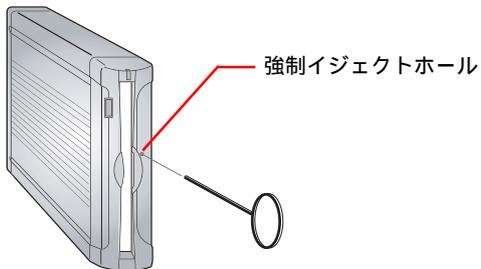
## イジェクトツールを使用した取り外し方法

何らかの理由でMOメディアの取り出しができなくなったときは、次の手順でMOメディアの取り出しを行ってください。

正しい手順で、本製品の取り外し操作（アンプラグ）を行った後、電源をOFFにして本製品からACアダプタ、USBケーブルを抜いてください。

取り外し操作については、「MOユニットの取り外し方法」をご参照ください。

強制イジェクトホールにイジェクトピンを差し込み、突き当たるまで強く押してください。メディアが数センチ排出されるので、静かに引き抜きます。



### ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

## フォーマット（初期化）について

ここではMOメディアのフォーマット方法について、ご使用のOS ごとにご説明いたします。  
参照したいOS のボタンをクリックしてください。

Windows 環境でフォーマットを行う場合

Macintosh環境でフォーマットを行う場合

### 注意！

フォーマットを行うと、それまでにMOメディア内に保存されていたデータは、全て消去されます。大切なデータは、必ず、あらかじめバックアップを取っておいてください。

## Windows 環境でフォーマットを行う場合

MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」をご使用ください。「Logitec ディスクフォーマッタ」は付属の「Software Pack」CD-ROMからインストールしてください。

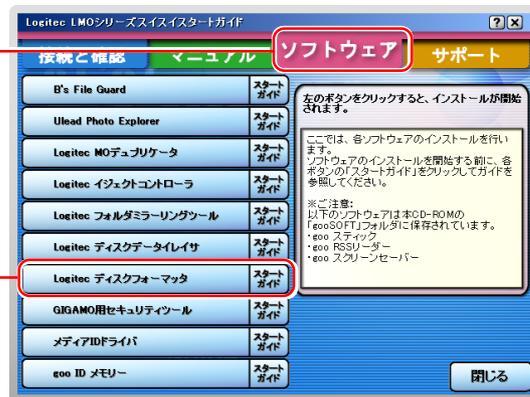
「Logitec ディスクフォーマッタ」のインストールは、「Software Pack」CD-ROMをパソコンにセットして自動起動する「スィスイスタートガイド」の画面より、

「ソフトウェア」タブを選択し、

ソフトウェアの一覧から、「Logitec ディスクフォーマッタ」のボタンをクリックしてください。

1. ソフトウェアタブをクリック

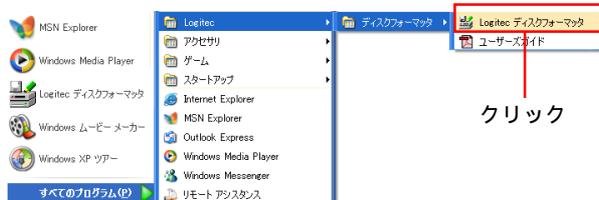
2. 「Logitec ディスクフォーマッタ」  
ボタンをクリック



自動的に、セットアップウィザードが起動しますので、この後はウィザードの指示に従ってインストールを進めてください。

## 「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態です)。



詳しい使用方法については「Logitec ディスクフォーマッタ」のユーザーズマニュアルをご参照ください。

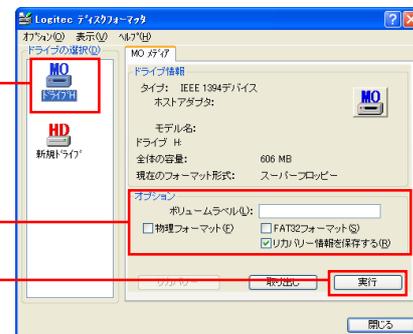
## フォーマット方法について

以下の画面が表示されたら、MOドライブのアイコンをクリックし、MOドライブにメディアをセットして、オプションを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

1. 選択してメディアをセット

2. オプションを設定

3. 「実行」をクリック



「オプション」では物理フォーマットを行うかFAT32 フォーマット (640MB以上のメディアのみ) を行うかを選択できます。「リカバリ情報を保存する」にチェックを入れた場合は、誤ってフォーマットを行った場合に、データのリカバリーを行うことができます。ただし、フォーマット後にメディアに書き込みを行った場合はリカバリーできません。また、物理フォーマットを選択した場合は、この項目自体選択することができません。

## Macintosh環境でフォーマットを行う場合

Macintosh 環境では、フォーマットは OS 標準の機能を使用します。  
下欄のポイントをご確認の後、ご使用の環境に該当する項目をクリックしてご参照ください。

### Mac OS Xでのフォーマット方法

### Mac OS 9でのフォーマット方法

#### ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。それ以外のフォーマット形式は Macintosh 環境では選択しないでください。

#### Mac OS 標準

従来の Macintosh シリーズでサポートされていた形式です。汎用性にはありますが、1.3GB などの大容量の MO メディアで選択すると、保管効率が悪くなります。Windows 環境では使用できません。

#### Mac OS 拡張

Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量の MO メディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

Mac OS X とのデータ交換を行う場合はこちらでフォーマットしてください。Windows 環境では使用できません。

**Mac OS でフォーマットする場合、「大文字と小文字を区別」および、「ジャーナリング」は選択しないようにしてください。**

**DOS 形式**を選択して初期化したい場合は Windows 環境にてフォーマットしてください。

フォーマット形式で、**DOS 形式**フォーマットのみ選択可能な場合も、Windows 環境にてフォーマットを行ってください。

Windows 環境でフォーマットした MO メディアを Mac OS 9 環境でマウントさせる場合は、540MB 以下の MO メディアをご使用ください。

## Mac OS Xでのフォーマット方法

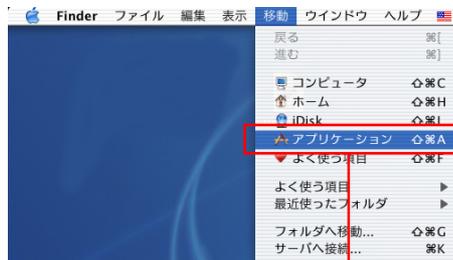
Mac OS Xでのハードディスクのフォーマット手順は、以下をご参照ください。

### フォーマット手順

ハードディスクのフォーマットにはMac OS X標準のフォーマットソフトウェア「ディスクユーティリティ (Disk Utility)」を使用します。

本製品をはじめて接続した際に、「今セットしたディスクはMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示された場合は、ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックして、手順へお進みください。

メニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択してください。



選択

「アプリケーション」ウィンドウが表示されます。ここで「ユーティリティ」フォルダをダブルクリックしてください。



ダブルクリック

「ユーティリティ」フォルダの一覧の中から、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックしてください。



ダブルクリック

Mac OS Xの標準フォーマット「ディスクユーティリティ」が起動します。以下のように設定してフォーマットを行ってください。

1. 本製品のドライブ名を選択
2. 「消去」タブを選択
3. ボリュームフォーマットの欄で「Mac OS 拡張」を選択
4. 「名前」の欄に、本製品の名前を入力。(本製品がデスクトップにマウントされる際、ここに入力した名前が表示されるようになります)
5. 「消去」ボタンをクリック

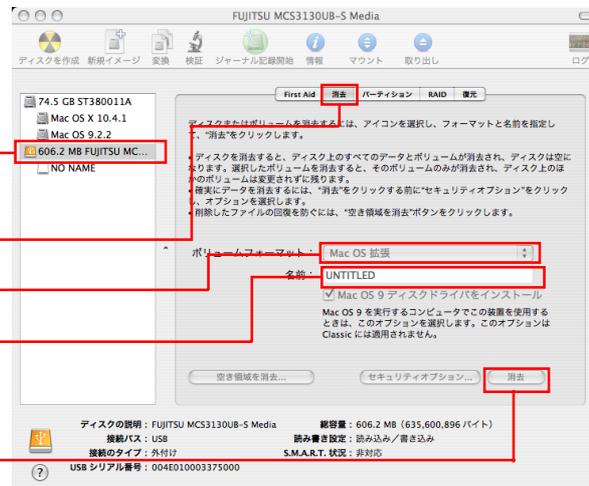
1. ドライブを選択

2. 「消去」タブをクリック

3. 「Mac OS 拡張」を選択

4. 名前を入力

5. 「消去」ボタンをクリック



確認のメッセージウィンドウが表示されますので「消去」ボタンをクリックしてください。フォーマットが実行されます。

! 次ページの注意事項を必ずご参照ください。

#### ご注意

- ・ すでにご使用の他のドライブを選択しないように十分ご注意ください。
- ・ Mac OS 9 環境でもご使用になる場合は、名前の下にある「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックボックスにチェックを入れてください。ただし、このチェックボックスはMac OS Xのみ搭載モデルの場合、表示されない場合があります。
- ・ Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の環境では、フォルダ名やウィンドウ名に「Application\_」、「Utilities」等、一部アルファベットが使用されています。

## Mac OS 9でのフォーマット方法

Mac OS 9 ~ 9.2.2 環境の場合、以下の方法でフォーマットを行います。

### フォーマット手順

コンピュータの電源が ON の状態で本製品と Macintosh マシンを接続して、本製品に MO メディアをセットします。

デスクトップに右のような MO メディアのアイコンがマウントされます。

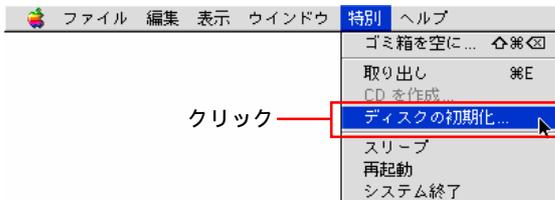


未フォーマットメディアやOS側で認識できないフォーマットのメディアをセットした場合は、このアイコンは表示されず、手順の画面となります。その場合はそのまま手順へお進みください。

MOメディアのアイコンをクリックして選択状態にしてください。

Finder メニューの「特別」をクリックし、「ディスクの初期化」をクリックしてください。

「装置の初期化」と表示される場合もあります。



以下のダイアログボックスが表示されるので、「名前」の欄にMOメディアの名称を入力し、「フォーマット」の欄でフォーマット形式を選択して、「初期化」ボタンをクリックしてください。

1. 名前を入力
2. フォーマット形式を選択
3. 初期化をクリック



- AppleTalkが「使用」に設定され、ファイル共有が開始されている場合は、フォーマット（初期化）を行うことができません。いったんAppleTalkを「不使用」に設定するか、ファイル共有を中止してからフォーマットを行ってください。AppleTalkはAppleメニューから「セレクトラ」を選択し、セレクトラウィンドウで「使用」と「不使用」を設定できます。ファイル共有は、Appleメニューから「コントロールパネル」- ファイル共有と選択し、ファイル共有ウィンドウで設定ができます。

# MO ユニットの取り外し方法

お買い上げいただいたMOユニットは、インターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ（パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し）が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

Macintosh環境の場合は上記の注意事項を確認したら、いつでもMOユニットの取り外しが可能です。取り外しの際は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

Windows環境の場合は、上記の注意事項確認後、一定の手順で、アンプラグ操作（パソコンとMOユニット間のUSB接続の解除）が必要となります。

アンプラグ手順については、右側をご参照ください。

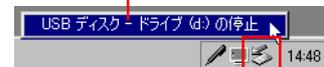
## アンプラグ手順

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、さらに表示されるポップアップ項目をクリックしてください。

ここで表示される項目の内容は使用OSによって異なります。次ページをご参照ください。

例：Windows Me の場合

2. この項目をクリック



1. このアイコンをクリック

デバイスを安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

参考：Windows 環境でアンプラグ操作時に表示されるメッセージ

Windows 環境でアンプラグ操作を行う際、OS により以下のようなメッセージが表示されます。

Windows XP の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を安全に取り外します。」

Windows Me の場合

「USB ディスク - ドライブ(d:)の停止」

Windows 2000 の場合

「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を停止します」

Windows 98 ( Second Edition 含む )

停止 - [Disk Drive] FUJITSU xxxxx

xxxxx の部分にはご使用のドライブの型番が入ります。

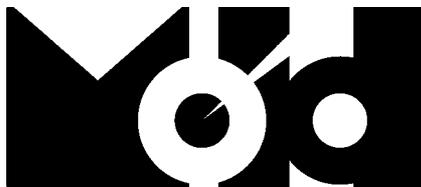
## 補足説明

メディア ID について

オプション品について

## メディア ID について

本製品は「メディア ID」機能に対応しています。以下のロゴマークはメディア ID 機能対応を示すものです。



メディア ID とは、メディア ID 対応の MO メディアに著作権保護の目的で記録された変更不可能な固有の番号です。今後ブロードバンドコンテンツ配信サービスなどで、メディア ID を前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、このようなコンテンツを保存 / 再生するには、メディア ID に対応した MO メディアおよび MO ドライブが必要です。詳細についてはインターネット上の弊社 Web サイトをご参照ください。

本製品のメディア ID 機能を使用するためにはドライブが必要となります。メディア ID 対応ドライブは、付属の CD-ROM 内に収録されています。また、最新バージョンについては、弊社 Web サイトにて公開中です。

## オプション品について

弊社ではインターフェースボードやケーブルなどを別売品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

### ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

#### PCIバス用USB 2.0 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA-USB2V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応

#### USB 2.0 High-Speed対応ケーブル

型番	長さ	備考
CB-USB2AB-005	0.5 m	シリーズA - シリーズB
CB-USB2AB-010	1.0 m	シリーズA - シリーズB
CB-USB2AB-030	3.0 m	シリーズA - シリーズB

#### CardBus対応USB 2.0 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HB	CardBus	インターフェースカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応



ここではMOユニットをご使用の際に寄せられる良くある質問についてお答えしております。参照したい項目をクリックしてください。

MO ユニットをパソコンに接続したのですが認識されません。

MO ユニットにセットした MO メディアへアクセスしようとするとエラーが発生します。

特定の MO メディアにアクセスできません。

MO メディアに書き込みができません。

データの転送速度が遅いようなのですが？

MO ユニットから MO メディアを取り出すことができません。

セットした MO メディアが認識されません。

パソコンがスリープ（休止・省電力モード）状態から復帰できなくなりました。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で、MO メディアを使用できません。

Q >>>

question

MO ユニットをパソコンに接続したのですが認識されません。

A >>>

answer

AC アダプタや接続に使用しているケーブルは正しく接続されていますか？

パソコン側、本製品側共に正しく差し込まれているかを確認してください。

LMO-PBBU2 シリーズをご使用の場合、ハブ経由で接続していませんか？

バスパワーの USB ハブを経由した場合、LMO-PBBU2 シリーズは動作しません。セルフパワーのハブをご使用になるか、パソコンに直接接続してご使用ください。

ご使用のパソコンの USB ポートからは USB バスパワーによる電源供給が行われていますか？

パソコンの USB ポートから規定の電源供給が行われない場合バスパワー駆動の MO ユニットは動作しません。また、ノートパソコンの場合バッテリー駆動時に USB ポートからの電源供給を行わない機種もあります。

その他に、パソコン本体やインターフェースボード（カード）などの仕様によっては電源供給性能の問題からバスパワーで十分に動作しない場合があります。

そのような場合は、別売の AC アダプタ「LA-12W5S-02」をご使用ください。

USB 延長ケーブルを使用していませんか？

USB 延長ケーブルを使用すると、不要な電圧降下を招き正しく動作しない場合があります。

Q >>>>

question

MO ユニットにセットした MO メディアへアクセスしようとするとエラーが発生します。

A >>>>

answer

MO 補助ドライバはインストールしていますか？

特に Windows Me、98 ( Second Edition 含む ) の環境において、1.3GB/640MB の MO メディアと 540MB/230MB/128MB の MO メディアを混在して使用した場合、パソコンが不安定になる場合があります。そのような場合は、動作を安定させるために、付属の CD-ROM より「MO 補助ドライバ」をインストールしてください。

MO メディアは汚れていませんか？

MO メディアは汚れなどにより、データの読み書きに通常よりも時間のかかる場合があります。ご使用の MO ユニット用のメディアクリーニングキット ( 別売 ) を使用して、メディアのクリーニングを行ってください。

また、この場合も「MO 補助ドライバ」をインストールすると、症状が改善する場合がございます。

別の MO メディアへアクセスすることはできますか？

アクセスしようとしている MO メディアの不良も考えられます。別の MO メディアでお試しになり、問題がない場合は、エラーの発生する MO メディアを再フォーマットしてご使用になることをお勧めします。再フォーマットの際は、データがすべて消去されますので、該当の MO ドライブ内のデータをバックアップしておくことをお勧めします。

**Q** >>>

## question

特定の MO メディアにアクセスできません。

**A** >>>

## answer

その MO メディアはフォーマットされていますか？

一般に MO メディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。

- ・ Windows 環境の場合は、MO ユニットに付属の CD-ROM より「Logitech ディスクフォーマッタ」をインストールしてフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。（「Logitech ディスクフォーマッタ」を使用した詳しいフォーマット方法については「Logitech ディスクフォーマッタ」に付属のユーザーズガイド（PDF）をご参照ください。）
- ・ Macintosh 環境の場合は、OS に標準のフォーマット機能を使用して MO メディアのフォーマットを行ってください。詳しいフォーマット方法については「フォーマットについて」の「Macintosh 環境でフォーマットを行う場合」をご参照ください。

その MO メディアは、ご使用の OS に合ったフォーマット形式でフォーマットされていますか？

MO メディアでは FAT フォーマットの形式が一般的ですが、未フォーマットのメディアやアップルコンピュータ社の Macintosh シリーズ用にフォーマットされたメディアもあります。Windows 環境と Macintosh 環境等、異なるシステムでデータ交換を行う場合には、FAT フォーマットの MO メディアをご使用ください。

Mac OS 9 シリーズで FAT フォーマット済み MO メディアを使用するためには、Mac OS 標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。Mac OS X の場合は、OS にあらかじめ組み込まれていますので、特に意識する必要はありません）

Macintosh シリーズ用にフォーマット（Mac OS 標準または Mac OS 拡張）されたメディアは Windows 環境では読み込むことができません。

MO メディアの容量を確認してください。

MO ユニットは、対応する容量以上のメディアを認識することはできません。「使用可能なメディアについて」を参照し、その MO メディアがご使用の MO ユニットで使用可能なものかどうかを確認してください。

Q >>>

question

MO メディアに書き込みができません。

A >>>

answer

MO メディアのライトプロテクトノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

Q >>>

question

データの転送速度が遅いようなのですが？

A >>>

answer

接続しているパソコンの USB ポートは USB 2.0 に対応していますか？

USB 1.1 ポートに接続している場合、データの転送速度は Full-Speed ( 12Mbps : 理論値 ) までとなります。High-Speed ( 480Mbps : 理論値 ) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合、別売の USB 2.0 インターフェースボードまたは USB 2.0 インターフェースカードを使用して接続してみてください。

Macintosh マシンをご使用の場合、Mac OS 9 および、Mac OS X 10.2 よりも前の環境では、OS が USB 2.0 の High-Speed に対応していません。

Q >>>

question

MO ユニットから MO メディアを取り出すことができません。

A >>>

answer

LMO-PBBU2 シリーズをご使用の場合、MO ユニートを接続しているパソコンの電源は ON になっていますか？

LMO-PBBU2 シリーズは、パソコンよりバスパワーで電源が供給されている状態でなければ、通常の取り出し操作は行えません。

MO メディア内のデータへアクセスが行われていませんか？

メディアへのアクセス中は取り出しを行うことができません。アクセス表示ランプが点灯していないことを確認し、アクセス終了後に取り出しを行ってください。

特定のソフトウェアが起動しているときにこの現象が起きますか？

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止する物があります。現在使用中のソフトウェアを終了してお試しください。

上記項目に当てはまらない場合、以下のことをお試しください。

MO ユニットを取り外した後に再接続して、再度取り出し操作を行ってみる。

パソコンから MO ユニットを取り外し、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに押し込み、強く押してみる（強制イジェクト）。ただし、MO ユニートの電源が ON の状態では、イジェクトツールは使用しないでください。

Q >>>>

question

セットした MO メディアが認識されません。

A >>>>

answer

MO ユニットを接続したままコンピュータを起動または再起動しませんでしたか？そのような場合は以下のことをお試しください。

いったん MO ユニットをパソコンから取り外し、しばらくしてから再度接続してみてください。

いったん MO ユニットから MO メディアを取り出してから、コンピュータの起動または再起動を行ってください。

Q >>>>

question

パソコンがスリープ（休止・省電力モード）状態から復帰できなくなりました。

A >>>>

answer

ご使用の MO ユニットは、スリープモード・サスペンドモードなどの省電力モードはサポートしていません。スリープ（サスペンド機能）を OFF にしてご使用ください。

Q >>>

question

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）で、MO メディアを使用できません。

A >>>

answer

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみとなっている場合があります。ご使用のソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

# ハードウェア仕様

LMO-PBBU2シリーズはここをクリック

機種名	LMO - FB654U2	LMO - FB665U2	LMO - FB1354U2	LMO - FB1365U2	LMO - FB2360U2
メディアタイプ *1	3.5型 MOメディア				
ディスクあたりの記憶容量	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB / 2.3GB
ディスク回転数 *2	5455rpm	6551rpm	5455 rpm	6551rpm	6094rpm
インターフェース	USB 2.0 / 1.1				
コネクタ形状	USB Mini - B				
最大データ転送速度 *3	480Mbps ( High - Speed対応時 ) 12Mbps ( Full - Speed 対応時 )				
平均シークタイム	23ms	23ms	23ms	23ms	23ms
キャッシュメモリ	2MB	2MB	2MB	2MB	8MB
環境条件 *4	動作時	温度	10 ~ 35		
		相対湿度	20% ~ 80%		
	保管時	温度	-10 ~ 50		
		相対湿度	10% ~ 85%		
入力電圧	AC100V ± 10% 50 / 60 Hz *5				
消費電力 ( 定格 )	7W *6				
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き	35 × 120 × 158 mm *7				
質量	720 g *8				

- \*1 対応メディアについては「使用可能なメディア」参照
- \*2 使用メディアにより可変
- \*3 理論値
- \*4 ただし結露なきこと
- \*5 ACアダプタ
- \*6 ACアダプタを含む
- \*7 縦置き時、突起部 / スタン  
ド除く
- \*8 本体のみ

## ディスク回転数について

各ドライブのディスク回転数は次のようになります。

LMO-FB654U2	5455rpm 固定				
LMO-FB665U2	540MB メディア使用時のみ 6094rpm、それ以外は 6551rpm				
LMO-FB1354U2	1.3GB メディア使用時 3637rpm、それ以外は 5455rpm				
LMO-FB1365U2	540MB メディア使用時 6094rpm、1.3GB メディア使用時 3637rpm、それ以外は 6551rpm				
LMO-FB2360U2	128 ~ 640MB メディア使用時 6094rpm、				
	1.3GB ZCLV モード	: 4094/4853rpm、	1.3GB ZCAV モード	: 4094rpm	
	2.3GB ZCLV モード	: 3640/4094/4853rpm	2.3GB ZCAV モード	: 3640rpm	

機種名		LMO - PBB640U2	LMO - PBB1345U2
メディアタイプ *1		3.5型 MOメディア	
ディスクあたりの記憶容量		128MB / 230 MB 540MB / 640 MB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB
ディスク回転数		4000rpm	1.3GB以外 : 4500rpm 1.3GB : 3000rpm
インターフェース		USB 2.0 / 1.1	
コネクタ形状		USB Mini - B	
最大データ転送速度 *2		480Mbps ( High - Speed対応時 ) 12Mbps ( Full - Speed 対応時 )	
平均シークタイム		45 ms	
キャッシュメモリ		2MB	
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	-10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧		DC +5V *4	
消費電流 ( 定格 )		500mA	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き		108.3 × 23.6 × 143.2mm *5	
質量		410g *6	

\*1 対応メディアについては「使用可能なメディア」参照

\*2 理論値

\*3 ただし結露なきこと

\*4 パソコンのUSBポートから供給

\*5 縦置き時、突起部 / スタンド除く

\*6 本体のみ

## 保証と修理について

製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。  
保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。  
故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

弊社サービス窓口およびテクニカルサポートの連絡先については、**次ページの「ユーザーサポート窓口のご案内」をご参照ください**

保証期間中の修理につきましては、保証規定に従い修理いたします。

保証期間終了後の修理につきましては、「テクニカルサポートセンター」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理させていただきます。（修理に代わって同等品と交換させていただく事があります）なお、補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

FAXにてお問い合わせの場合は、巻末のお問い合わせ用紙をご利用ください。

## ユーザーサポート窓口のご案内

製品に対する技術的な質問や、取扱説明書に対するお問い合わせ

お問い合わせの際に次の ~ の内容をご確認の上、弊社「テクニカルサポート」までお問い合わせください。

現在の状態（できるだけ詳しく）

製品の名称/シリアル番号（保証書に記載されています）

ご購入年月日、ご購入先

### テクニカルサポート連絡先（ナビダイヤル）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8      ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 0570-022-022      FAX. 0570-033-034

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～18：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

携帯電話（FAX）、PHS（TEL、FAX共）、IP電話（TEL、FAX共）はご利用になれません。

郵送または宅配便にて修理依頼される場合のお願い

- ・ 送料および、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担になります。
- ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
- ・ 必ず、「お客様のご連絡先（ご住所/電話番号）」、「故障の状態」を書面にて添付してください。
- ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りもりの必要の有無、または修理限度額および連絡先を明示のうえ、製品に添付してください。
- ・ ご送付の際は、緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）等に入れて、お送りください。

### 修理品送付先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック（株）修理サポートセンター（3番受入窓口）

TEL：0265-74-1423      FAX：0265-74-1403

受付時間： 月曜日～金曜日 9：00～12：00、13：00～17：00（祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く）

## 問い合わせ用紙

年 月 日

注意：記載内容は、正確に記載いただきますようお願いいたします。

送付枚数 枚

### 連絡先

ご氏名： \_\_\_\_\_

企業・学校名： \_\_\_\_\_

(連絡先が企業・学校の場合のみご記入ください。)

所属部課名： \_\_\_\_\_

住所： 〒 \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ FAX 番号： \_\_\_\_\_

時間帯： \_\_\_\_\_

(より詳しい情報を確認させていただくことがあります。日中弊社より連絡の取れる電話番号と時間帯をご記入ください。尚、弊社の営業時間は、9:00～12:00、13:00～18:00 です。)

### お問い合わせ製品

弊社製品名： \_\_\_\_\_ シリアル番号： S/N \_\_\_\_\_

添付ユーティリティ： LST- CD - \_\_\_\_\_ Vol : \_\_\_\_\_

接続方法： ATAPI, SCSI, USB, IEEE1394, 他( \_\_\_\_\_ )

(何れかに丸を付けてください。他 の場合はカッコ内に接続方法をご記入ください)

使用インターフェースメカ名： \_\_\_\_\_ メカ型番： \_\_\_\_\_

(弊社以外のインターフェースボードまたはカードに接続されている場合はご記入ください。)

ご使用環境 (自作の場合は、マザーボード、チップセット、CPU の記載をお願いします。)

パソコンメーカー名： \_\_\_\_\_

パソコン型番： \_\_\_\_\_

(細かい型番モデル名までお書き添えください。)

OS : \_\_\_\_\_

他増設機器： \_\_\_\_\_

### 問い合わせ内容

・お客様がわかる範囲でかまいませんので、できるだけ詳しくお書きください。